

獨協大学平成23年度事業報告

- 学習ポータルサイトがスタート
- 経済学部新学科増設準備
- 外国語教育研究所、情報学研究所の開設
- 「学生センター」の建設着工、「学生センター別館」の竣工
- 旧3棟跡地庭園緑化整備
- Dokkyo Admissions Officeの開設

平成23年度は、「基本計画・第6次見直し(23～28年度)ー新しいキャンパスの創造に向けてー」のスタートの年であり、学生センター建設をはじめとするキャンパス再編の第3ステップを加速させた年となりました。

東日本大震災で罹災した学生に対する支援を行うとともに、学内外の施設の復旧を迅速に行いました。また、学生センター建設に着手する一方、学生センター別館の竣工、旧3棟跡地芝生広場の完成、さらにDokkyo Admissions Officeを開設し入試広報の強化を図りました。



緑が映える芝生広場

平成23年度事業報告書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業内容	結果・備考等	予算	実績	差異
教 学 関 係	1)「教育研究支援センター」の運営支援	1) 本学の教育研究支援を統合した新組織「教育研究支援センター」の下、新たなTA(ティーチング・アシスタント)制度の創設を検討しました。	15.0	0.9	14.1
	2) 学習ポータルサイトの構築	2) 学生・教職員向け総合情報サービス「ポータルシステム」I期が平成23年5月に稼動しました。	15.8	14.1	1.7
	3) 経済学部新学科増設	3) 平成25年度開設に向けて経済学部新学科(国際環境経済学科)開設準備を進めるとともに、市場調査や分析を行いました。	5.1	5.9	△0.8
	4) 学部・学科教育の充実・活性化	4) 各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行できる活性化促進費の有効活用により、教育研究の充実を図りました。	22.0	8.8	13.2
	5) 全学共通カリキュラムの活性化とEGAP英語教育(GP)支援	5) 全学共通カリキュラムの教育促進に努めました。また「学士力向上に資するEGAP英語教育の充実(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」の実践により、全カリ英語の一層の充実を図り、3年間の成果をGPシンポジウムにて発表しました。	24.3	20.7	3.6
	6) 大学院教育の活性化(各研究科)	6) 魅力ある大学院として、広報強化を図りました。	2.7	1.8	0.9
	7) 国際交流活動の推進と提携校の拡大	7) 世界各国の高等教育機関が集う国際教育交流の場(NAFSA総会)に参加し、広報展開するとともに、継続して新規協定校開拓に努め、新たに5校と協定を結びました。	2.9	1.7	1.2
	8)「外国語教育研究所」の開設	8) 研究機能の強化として、旧「外国語教育研究所」を改組し、新たな研究所を開設しました。	12.0	9.9	2.1
	9)「情報学研究所」の開設	9) 研究機能の強化として、旧「情報センター」を改組し、新たな研究所を開設しました。	12.0	6.4	5.6
	10) 海外インターンシップの調査・開拓	10) 海外インターンシップにおける事前研修および実施のための調査を行いました。	1.8	0.7	1.1
学 生 サ ー ビ ス ・ そ の 他	1) キャリア形成教育、キャリアカウンセリングの強化支援	1) 就職支援推進プログラム(文科省平成21年度)の採択を受け、引き続き増員強化したキャリアカウンセラーによる就職支援強化に取り組みました。	12.5	16.8	△4.3
	2) 奨学金の拡充(父母の会)	2) 「父母の会」からの支援により「獨協大学父母の会奨学金」を拡充しました。	18.0	19.8	△1.8
	3) 休業期間中の図書館開館時間延長	3) 休業期間中の図書館開館時間を延長することにより、カウンターサービス等図書館サービスの拡充を図りました。	5.5	3.8	1.7
	4) 携帯サイトのリニューアル	4) 携帯等モバイル版でのスピーディな情報発信を行い、新たな広報展開を図りました。	5.0	3.6	1.4
	5) 「日独交流150周年」関連企画	5) 日独交流150周年に合わせ、本学とドイツに関わる展示、レクチャーコンサート、ドイツ・フェスティバル等を大学内外で開催しました。	14.7	15.1	△0.4
	6) 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還カプセル展示等	6) 獨協大学天文・宇宙WEEKとして「はやぶさ」等展示、研究者による講演等を行い、本学教養教育の一環を広く社会に向けて発信しました。	6.0	13.6	△7.6
施 設 ・ 設 備 関 係	1)「学生センター」の建設着工	1) 学友会活動の活性化と学生サービス向上を促し、学生の総合的な人間形成に寄与することを目的として、学生センター建設を着工しました。(平成24年9月竣工予定)	1,520.0	1,114.5	△415.5
	2)「学生センター別館」の建設	2) 学生センター建設に伴い、35周年記念館隣に弓道場の移設、更衣室・シャワー室等を設置しました。	224.0	447.0	△223.0
	3) 旧3棟跡地庭園緑化等	3) キャンパス・ランドスケープ計画の一環として、第3棟跡地に緑化庭園(芝生広場)や、天野貞祐記念館から東棟までの屋根付き通路設置等キャンパス整備を推進しました。	224.0	348.7	△124.7
	4) 中央棟の施設拡充・設備更新(入試部学生ラウンジ拡張他)	4) 年次計画により施設拡充・設備更新工事を行いました。新たに「Admissions Office」を設け、入試広報の強化を図りました。	200.0	188.0	12.0
	5) 図書館自動書庫の増設(2基)	5) 蔵書収納能力アップを図るため、図書館自動書庫2基を増設しました。これにより収容能力は100万冊以上となりました。	254.9	241.5	13.4
	6) DAINETⅢの全学的整備	6) DAINETⅢの整備に合わせた天野貞祐記念館ネットワークとのシステム統合を行いました。	65.8	44.5	21.3
	7) 図書館内PCの更新と設置席の増設	7) 学生からの要望に応えるため、図書館内PCの更新とPC設置席を増設しました。	17.1	17.5	△0.4
地 域 貢 献 関 係 等	1) オープンカレッジの拡充	1) 広報強化により本学の公開講座を広くアピールするとともに、受講者の様々なニーズに応えるべく、開設講座の充実を図りました。	5.8	5.6	0.2
	2) 地域総合、環境共生研究所シンポジウム	2) 地域総合、環境共生研究所主催のシンポジウムを開催し、地域社会に向けた情報発信を積極的に展開しました。	4.0	2.3	1.7

主な用語について

- **帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- **学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- **手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- **補助金** 国や地方公共団体等からの補助金。
- **雑収入** 退職金財団からの交付金等。
- **基本金組入額** 学校会計では、帰属収入から、学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資産と資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- **消費支出** 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- **人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、臨時職員に関わる給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- **教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその施設設備に係わる減価償却額が計上される。

平成24年度事業計画のポイント

創立50周年とその後の50年に向けて、様々な施策を展開

今年度の取り組みをお知らせします

平成24年度は、本学創立50周年(平成26年度)に向けて様々な施策、事業を展開します。特に教学部門では、経済学部新学科「国際環境経済学科」の平成25年度開設のための準備、キャンパス再編事業では「学生センター」建設と「伝右川水辺再生事業」の推進を行います。

教学関係

- 経済学部新学科「国際環境経済学科」の開設準備
- 学習ポータルサイトの充実
- 全学共通カリキュラム英語教育の充実
- 研究所の研究体制整備

本年4月に経済学部新学科「国際環境経済学科」の申請を文部科学省に行い、来年度4月開設に向けて準備を進めます。昨年5月にスタートした大学総合情報システム「学習ポータルサイト」のコンテンツとサービスの充実をはかります。また、全学共通カリキュラムでは、文部科学省G P事業に採択された「学士力育成に資するE G A P英語教育の充実」事業の継続等を行います。昨年4月に設立した「外国語教育研究所」「情報学研究所」について研究機関としての研究体制の整備をさらに進めます。

学生サービス・管理運営関係

■ 奨学金の充実

本学の学部学生向け奨学金は年々充実度を増し、獨協大学父母の会からも支援をいただくなど私立大学の同規模校ではトップクラスの水準となっています。また本年度も、東日本大震災罹災学生に対し引き続き支援を行います。

■ 就職支援の強化

本学では「キャリアカウンセリングの強化と地域協力を得た就職支援」が文部科学省G P事業に採択されたことを機にキャリアアカウンタが増員強化されました。本年度も獨協大学父母の会からの協力も得て、就職支援を継続していきます。

■ 獨協大学創立50周年関係事業

平成26年の本学創立50周年に向けて、五十年史の編纂等の記念事業の準備を行います。



今年9月末竣工予定の学生センター(完成予想図)

今年度の重点項目

- 1 経済学部「国際環境経済学科」の開設準備
- 2 学習ポータルサイトの充実
- 3 全学共通カリキュラム英語教育の充実
- 4 研究所の研究体制整備
- 5 奨学金の充実
- 6 就職支援の強化
- 7 獨協大学創立50周年関係事業
- 8 学生センターの建設
- 9 「伝右川の水辺再生事業」の推進
- 10 旧1棟跡地に隣接する水門の排水機場移設工事
- 11 オープンカレッジ、特別市民講座の実施
- 12 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウムの開催

施設・設備関係

■ 学生センターの建設

■ 「伝右川の水辺再生事業」の推進

■ 旧1棟跡地に隣接する水門の排水機場移設工事

現在建設中の「学生センター」は本年9月末に竣工します。「学生センター」の完成により、学友会活動の活性化と、学生サービスの向上とキャンパスライフの充実をはかります。さらに、埼玉県の水辺再生事業「水辺再生100プラン事業」に採択された「伝右川の親水護岸工事」を推進し、本学の「ランドスケープ計画」に基づいて周辺整備を行います。また、これらの工事にあわせて、旧1棟跡地に隣接する水門の排水機場移設工事を行います。

地域貢献関係

■ オープンカレッジ、特別市民講座の実施

■ 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウムの開催

オープンカレッジでは講座数の増加、そして特別市民講座を実施します。地域総合研究所、環境共生研究所では、それぞれの研究所が主催するシンポジウムを開催し、研究所での研究成果を広く地域社会に還元して積極的に情報発信を行います。

平成24年度事業計画書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1) 経済学部新学科開設準備支援 (平成25年4月開設予定)	1) 平成25年度新学科開設に向けて、広報活動やカリキュラム開発等の開設準備を行います。	5.0
	2) 「学習ポータルサイト」運営支援	2) 平成23年5月にスタートした大学総合情報システム「学習ポータルサイト」のコンテンツとサービスの充実を図ります。	21.1
	3) 学部・学科教育の活性化	3) 各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行できる活性化促進費を配布し、教育研究の充実を図ります。	27.3
	4) 全学共通カリキュラム英語教育の支援	4) 「EGAP英語教育(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」で得られた成果を基に全カリ英語のさらなる充実を図ります。	23.0
	5) 大学院教育の活性化	5) 院生への指導強化を図るとともに、魅力ある大学院としての広報活動を行います。	2.7
	6) 「教育研究支援センター」の運営支援	6) 授業補助、TA制度等の拡充を図り、本学のさらなる教育研究活動に資する運営への支援を行います。	7.2
	7) 「外国語教育研究所」の研究体制整備	7) 設立2年目に入り、研究機関としてのさらなる研究体制の整備を進めます。	12.0
	8) 「情報学研究所」の研究体制整備	8) 設立2年目に入り、研究機関としてのさらなる研究体制の整備を進めます。	12.0
	9) FD、SD活動の推進	9) FD、SDを推し進め、さらなる教育環境改善に努めます。	10.0
	10) 国際交流活動の推進	10) 世界の高等教育機関が集う国際教育交流の場(NAFSA総会)に参加し、本学を世界に向けてアピールするとともに、継続して新規協定校開拓に努めます。	9.0
	11) 大学基準協会認証評価 (平成26年度)の準備	11) 平成26年度実施予定の大学基準協会認証評価に向けて準備を進めます。	0.8
学生サービス・その他	1) 東日本大震災罹災学生の支援(奨学金)	1) 東日本大震災罹災学生に対し、前年度に引き続き特別奨学金を給付します。	50.0
	2) キャリア形成教育、 キャリアカウンセリングの強化支援	2) 就職支援推進プログラム(文科省平成21年度)の採択を機に増員強化したキャリアカウンセラーによる就職支援に引き続き取り組みます。	10.5
	3) 奨学金の拡充(「父母の会」からの支援)	3) 「父母の会」からの支援により「獨協大学父母の会奨学金」を拡充します。	27.0
	4) モバイル端末対応を含めた 携帯サイトの拡充	4) 在学生、受験生の間で利用度が高い携帯サイトを強化し、大学情報の周知と利便性の向上に努めます。	5.0
	5) 抗体検査の実施費用補助(継続)	5) 感染症対策として、はしか等の予防接種の補助を行います。	1.3
	6) ワーク・ライフ・バランスに関する調査	6) ワーク・ライフ・バランスの推進に関する学内外の動向と今後の対応に向けての調査を行います。	0.1
	7) 「創立50年史」の編纂	7) 平成26(2014)年に創立50年を迎えるにあたり、「創立50年史」の編纂に向けての準備を進めます。	3.8
	8) 「創立50周年記念事業準備委員会 (仮称)」の設立	8) 「創立50周年記念事業準備委員会(仮称)」の発足とともに、来るべき創立50周年における記念事業の企画・立案・実施に向けての準備を開始します。	5.0
	9) 創立50周年記念寄付金募集 プロジェクトの検討	9) 創立50周年記念事業の実施と関連して、記念寄付金の募集に向けて検討します。	0.2
	10) 外国人留学生宿舍建設に関する調査	10) 外国人留学生宿舍建設に関して、用地・建物・周辺環境等に関する調査を行います。	0.2
施設・設備関係	1) 「学生センター」の建設	1) 新たな学友会活動の拠点となる学生センターの竣工により、学友会活動の活性化と学生サービスの向上および学生生活の充実を図ります。	1,764.1 (総工費 32.2億円)
	2) ランドスケープ事業(ウエルカムプラザ、 ゲートプラザ他)	2) 学生センター建設に伴う周辺エリアを整備し、本学の新たな表玄関に相応しい景観整備を行います。	125.8
	3) 「伝右川の水辺再生事業」に係わる 周辺整備工事	3) 埼玉県水辺再生100プランに採択された「伝右川の水辺再生事業」を推進します。	22.5
	4) 旧1棟跡地に隣接する水門の排水機場 移設工事	4) 学生センターの竣工に伴い水門の排水機場を移設することで、景観を整備し、学生等の動線をスムーズにします。	57.0
	5) 中央棟の老朽化対策と利用改善の ための改修・設備更新	5) 中央棟が竣工されて30年以上経過し、設備面での老朽化が顕著となっており、利用改善のための改修と設備更新を行います。	110.0
	6) 外国人留学生宿舍整備	6) 新たな管理運営方法を導入し、効率化を図ります。	21.8
	7) DAINETⅢの整備と データベースの保全	7) DAINETⅢの整備を進めるとともに、危機管理上の必要性からデータベースの安全管理と保全を行います。	60.1
地域貢献関係等	1) オープンカレッジ、特別市民講座の実施	1) 広報強化により本学の公開講座を広くアピールするとともに、受講者の様々なニーズに応えるべく、開設講座の充実を図ります。	3.6
	2) 地域総合、環境共生研究所の市民向け シンポジウム開催	2) 地域総合、環境共生研究所主催のシンポジウムを開催し、地域社会に向けた情報発信を積極的に展開します。	4.0
	3) 埼玉県、草加市、自治体、UR等との 連携強化	3) 草加市文化交流事業に積極的に関わり、交流事業を展開します。また、近隣住民との定期的な交流の場を設けます。	0.1
	4) 地域市民との意見交換会、グラウンド 貸出等の実施	4) 地域市民との交流の場として、意見交換会の実施のほか、グラウンド貸出しを行います。	0.4
	5) 高校生への大学施設(図書館)開放	5) 夏休み、春休みに高校生に対し図書館を開放します。	0.1